

サル出没中！！

※ ご注意ください

最近、市街地にてサルの出没が増加しています。畑の作物を食べたり、家の屋根に上がって瓦をずらしたりするなど様々なトラブルを起こしています。サルの被害を減らすためには、きちんと対策を行うことが重要です。簡単にできる対策もありますし、また、それをみんなで取り組むことが非常に大切です。

サルは基本的に人間を怖がっています。しかし、一度人間が怖くないと学習してしまうと、どんな対策をしても効果が上がりません。サルの生態を理解し、地域全体で対策を行い、人に慣れさせないようにしましょう。

サルの特徴

サルの活動時間は通常、日の出から日没までの明るい時間だけ、夜間は行動しません。聴覚や嗅覚は人間並みで、いろいろな情報は目で見て集めています。また、サルは学習能力が高く、おいしいエサにありついた場所や、出会っても怖くない人はすぐに覚えます。



対策方法

○エサを与えない、エサになるものを野外におかない

サルは、取り残した野菜や捨てられた野菜くず、実がなったままになっているビワやカキ、ミカンなどの果物や、お墓のお供え物などもエサにします。屋外に放置するのは、自分たちでサルを呼び寄せているようなものです。みんなで協力して、サルにエサを与えないようにしましょう。

○戸締りをきちんとする

家や納屋の中に入ってこないよう、玄関や窓は開けたままにせず、戸締りを徹底しましょう。建物の2階以上も、窓から侵入することもあるので十分注意しましょう。

裏面に続く

○サルを追いかう

追いかいの道具を持っている場合は、道具を使って積極的に追いかいましょう。追いかわないでいると、サルはそこが安全な場所と学習し、たびたび現れるようになってしまいます。一人よりもできるだけ多くの人数で、しつこく追いかうのが効果的です。

(追いかいの道具の例：棒、石ころ、電動エアガン、パチンコ、ロケット花火、爆竹など音が出るものも効果的ですが、周囲の状況には十分注意しましょう。)

※追いかいが困難な場合

追いかいの道具がない場合や、サルが威嚇して向かってきて怖いと感じた場合、お年寄りや女性一人だけ、子どもだけなどサルが怖がらないことが予想される場合には、追いかいはやめておきましょう。そのような場合には、むやみに近づかず、直接目を合わせないようにしながら、背を向けないようにして静かに速やかに遠ざかりましょう。

目を見つめるとサルは威嚇されたと思い、人が目をそらしたときに襲ってくる場合があります。

追いかい時は自分の安全を確保し、無理はしないようお願いします。

【問い合わせ・連絡先】

(庄内町) 由布市役所 農林整備課
電話：097-529-7347

(挾間町) 由布市役所挾間振興局 挾間地域整備課
電話：097-583-1111

(湯布院町) 由布市役所湯布院振興局 湯布院地域整備課
電話：0977-84-3111